

癌化学療法レジメン

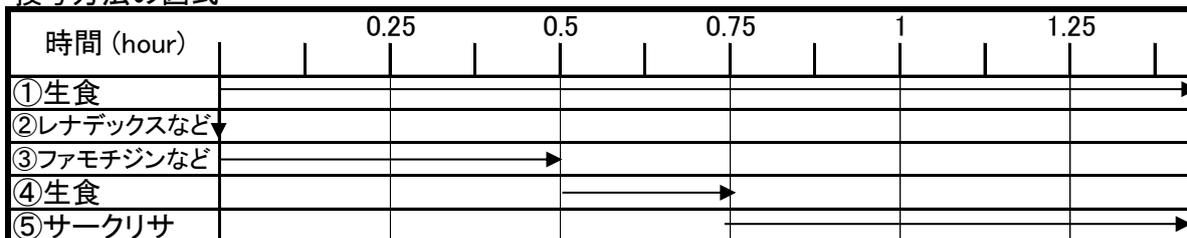
氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

レジメン名 **Isa+Pd療法(2コース目以降)**  
 対象疾患 再発又は難治性の多発性骨髄腫  
 診療科 \_\_\_\_\_  
 施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
<b>day1.15</b>					
①	生食	1000mL			血管確保とフラッシュ用(24時間かけて)
②	レナデックス	40mg(10T)			サークリサ投与45分前に内服
	カロナール	1000mg(2T)			
③	ファモチジン	20mg/20mL(A)		生食100mL	30分かけて
	ポララミン	5mg/mL(1A)			
④	生食	50mL			15分かけて
⑤	サークリサ	10mg/kg		生食250mL	投与速度はレジメン文書特記事項 参照 総量250mLで調製
<b>day8.22</b>					
①	レナデックス	40mg(10T)			朝食後
<b>day1~21</b>					
①	ポマリスト	4mg/day			内服、朝食後

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

1クール28日間。サークリサはDay1.15.にデキサメタゾンと1.8.15.22に投与。  
 ポマリストはday1~21に投与、1週休薬

4 特記事項

- ・ 投与する際は、インラインフィルターを用いて投与すること。
- ・ 投与速度は次ページ参照(単位がmLではなくmgのことに注意する。体重ごとでの早見表は別にあ
- ・ 間接クームス試験への干渉が認められることがある。
- ・ 投与量が2000mgを超える場合は濃度が8mg/mLを超えない範囲で2バックに分けて調製すること
- ・ ポマリストはレブメイトを遵守する。
- ・ デキサメタゾンは75歳以上の際は40mg→20mgへ減量する。